遠隔病理診断により迅速な確定診断と治療方針の決定が可能であった悪性リンパ腫の一例

国保水俣市立総合医療センター　臨床検査科 1)
済生会川内病院　病理診断科 2)
熊本総合病院　　病理診断科 3)

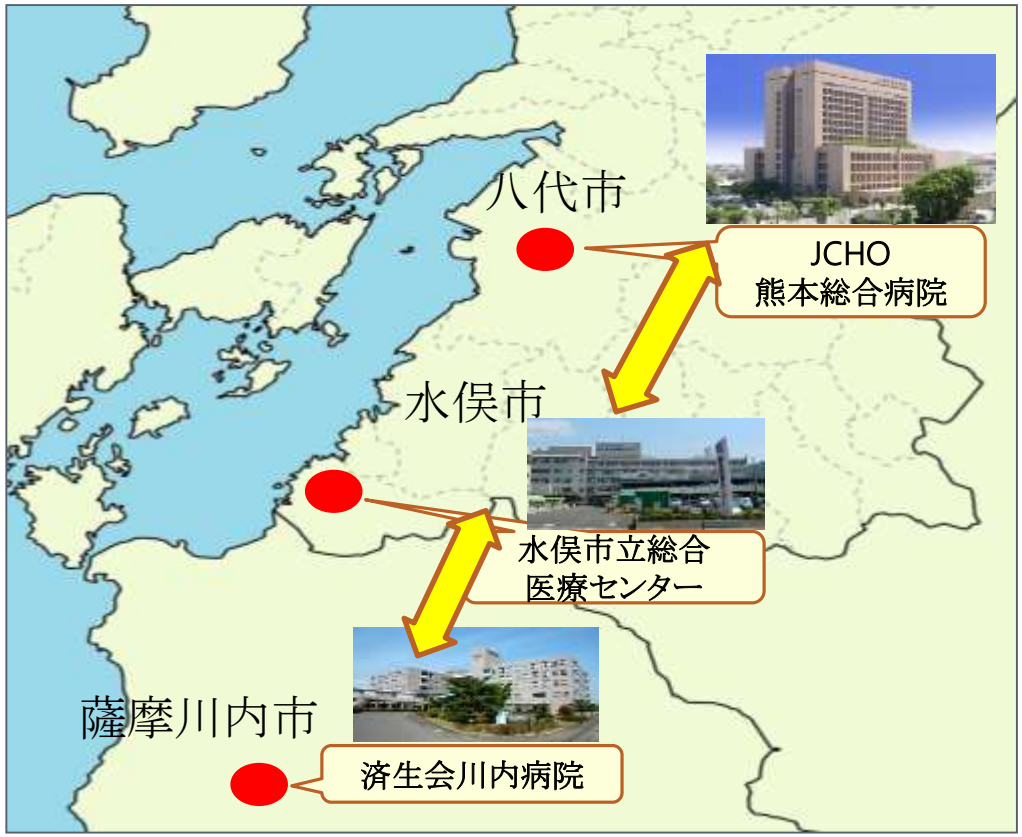
下野原　壮(CT) 1)　折田　彩香(MT) 1)　原田　康治(MT) 1)
河野　公成(CT) 1)　畠中　真吾(MD) 2)　猪山　賢一(MD) 3)

はじめに

　今回、ライブビュー遠隔病理診断支援システムを活用し、迅速な確定診断及び、早急な治療が可能であった肺原発悪性リンパ腫の一例を経験したので報告する。

当院の背景

- 常勤の病理専門医が不在で週2回他院から招聘
- 至急検体に関してはライブビュー遠隔病理診断システムを利用し、対応している
- ライブビュー遠隔病理診断提携施設



ライブビュー遠隔病理診断支援システム概略図

水俣市立総合医療センター　　済生会川内病院　熊本総合病院

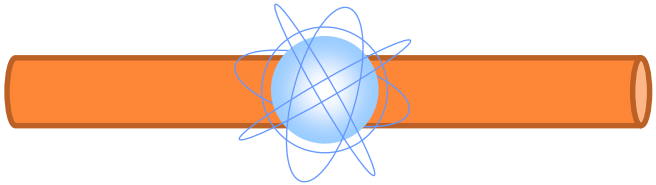








Aperio　LV1へ
スライドセット

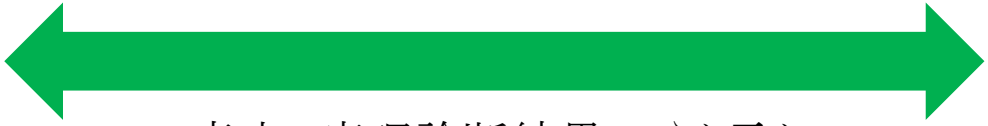


VPNによる秘匿性の高い接続

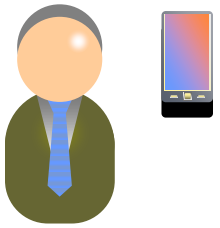


Aperio　LV1へ
画面共有/コントロール
/スライド観察/診断入力

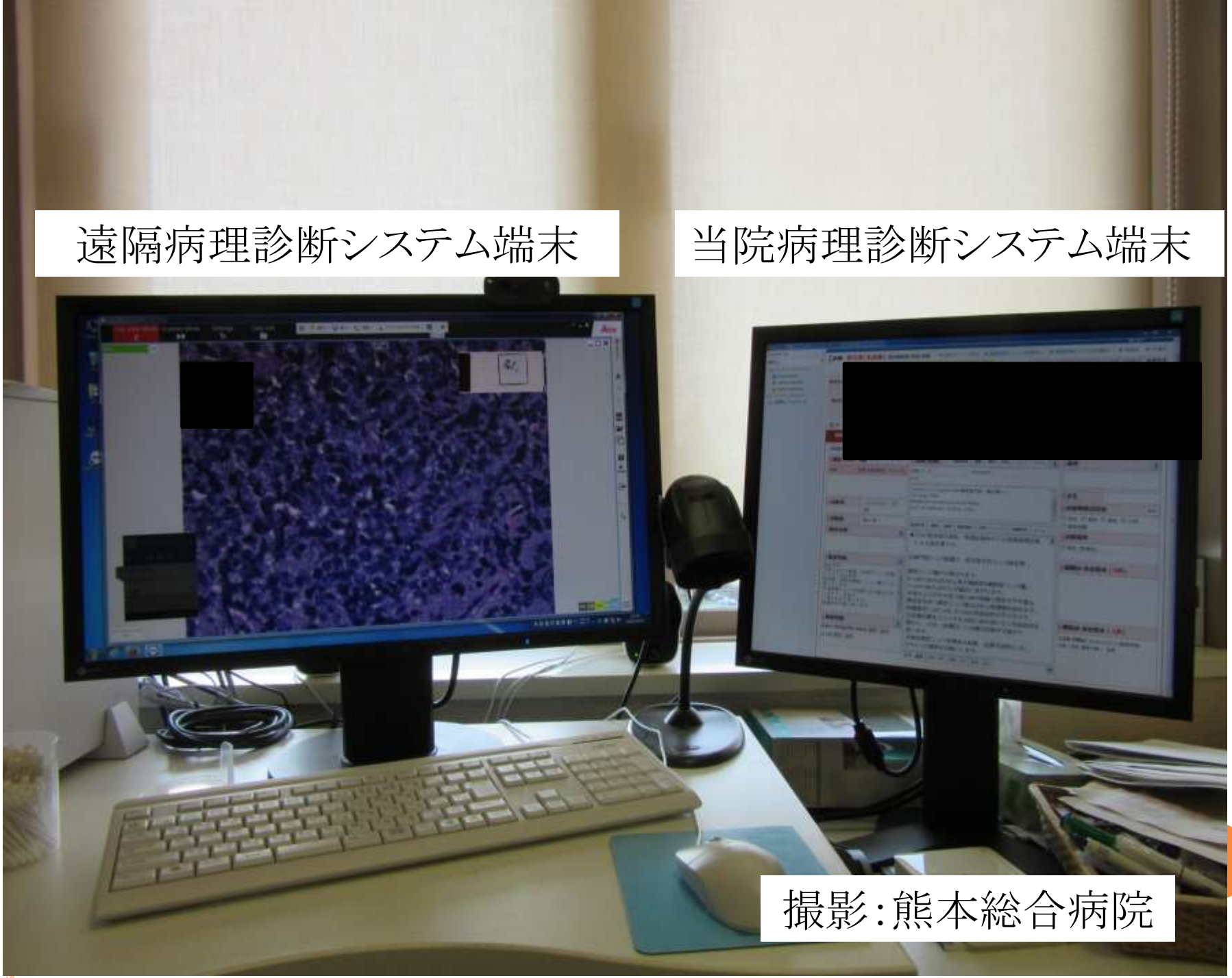


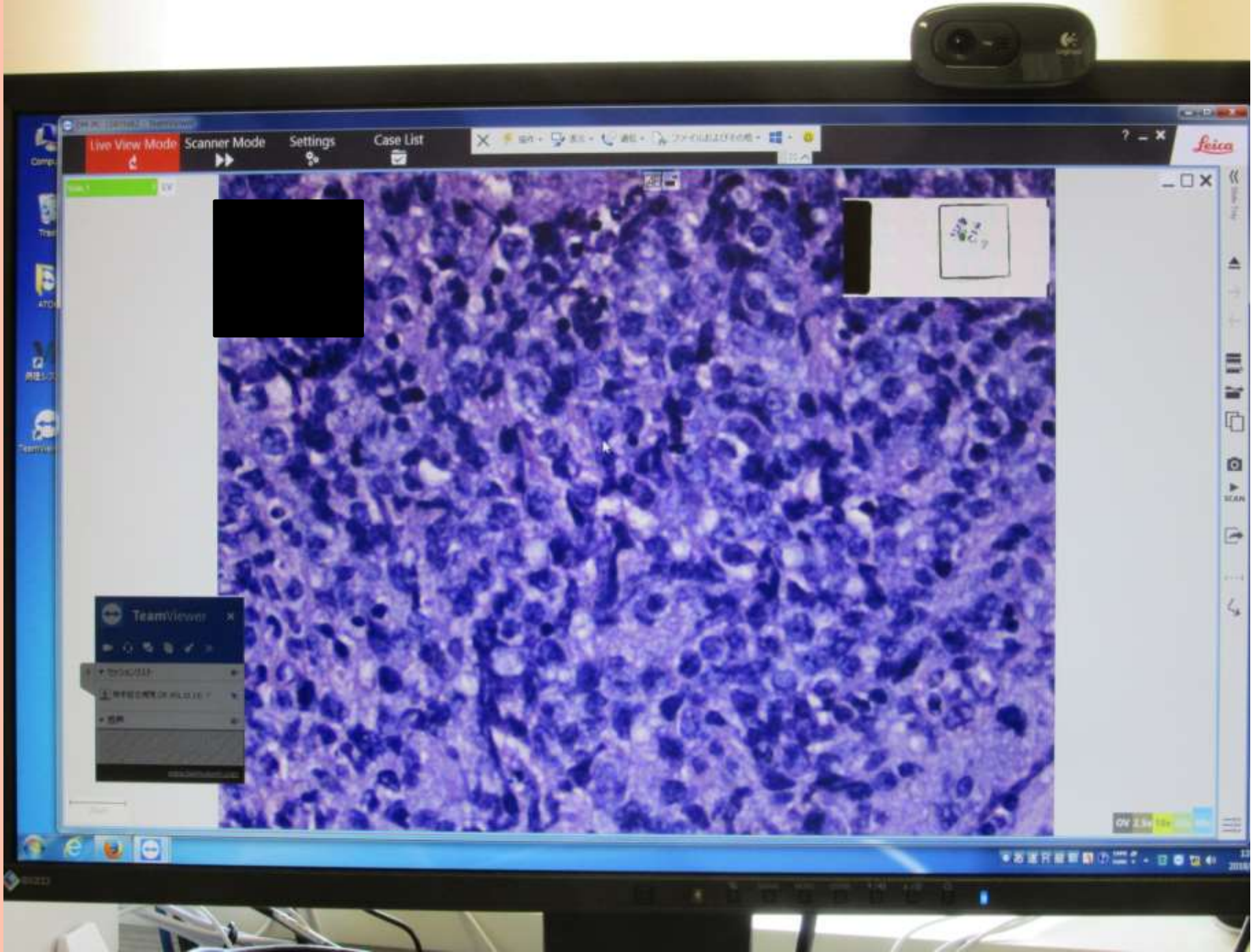


音声、病理診断結果のやり取り






遠隔病理診断システム端末
当院病理診断システム端末
撮影：熊本総合病院


Live View Mode
Scanner Mode
Settings
Case List
Leica
TeamViewer

【症例】

70歳代　男性

【主訴】

1カ月前より咳

【血液検査結果】

白血球：12,900/μl

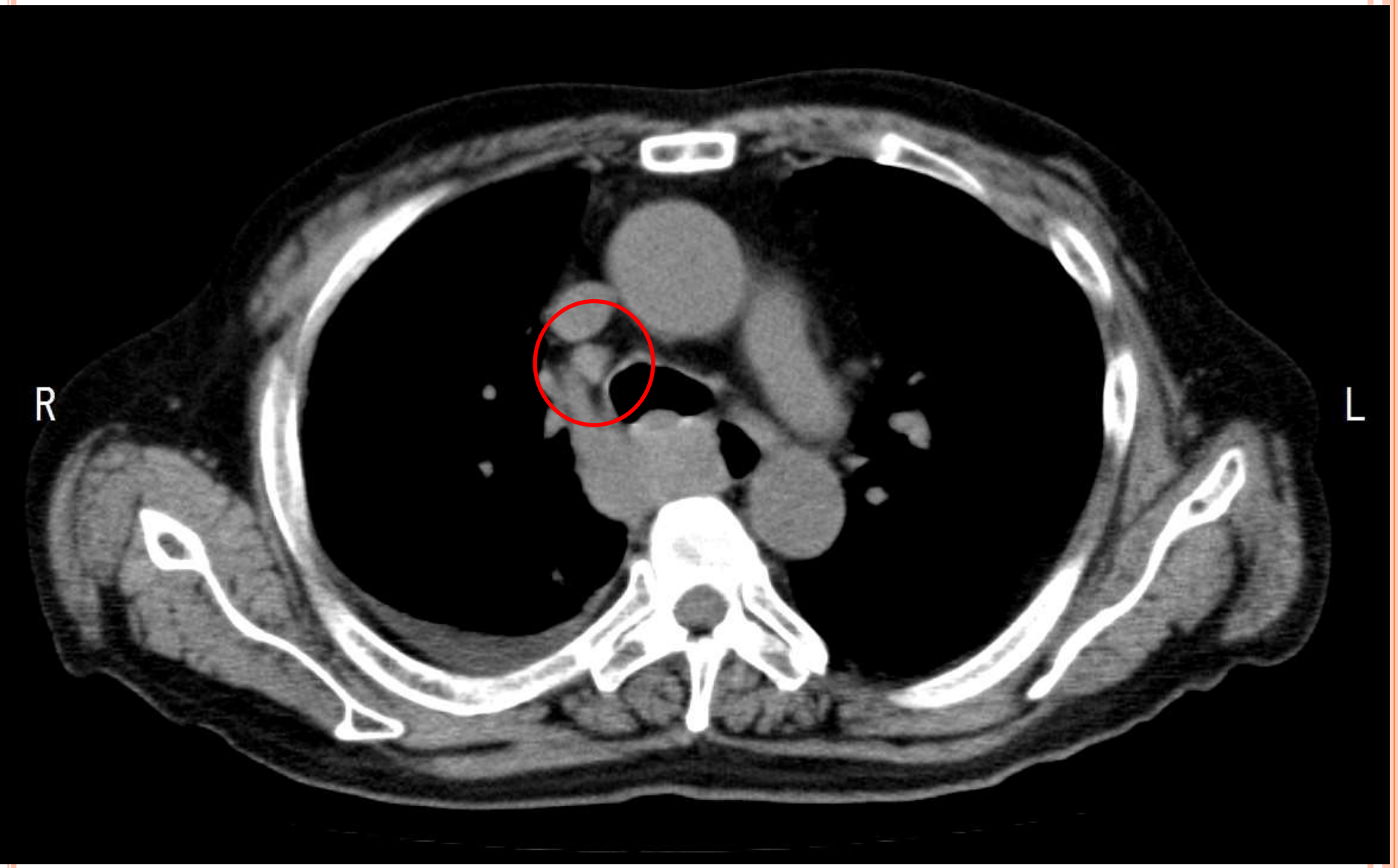
CEA：6.1 ng/ml

可溶性IL2レセプター：1,700 U/ml

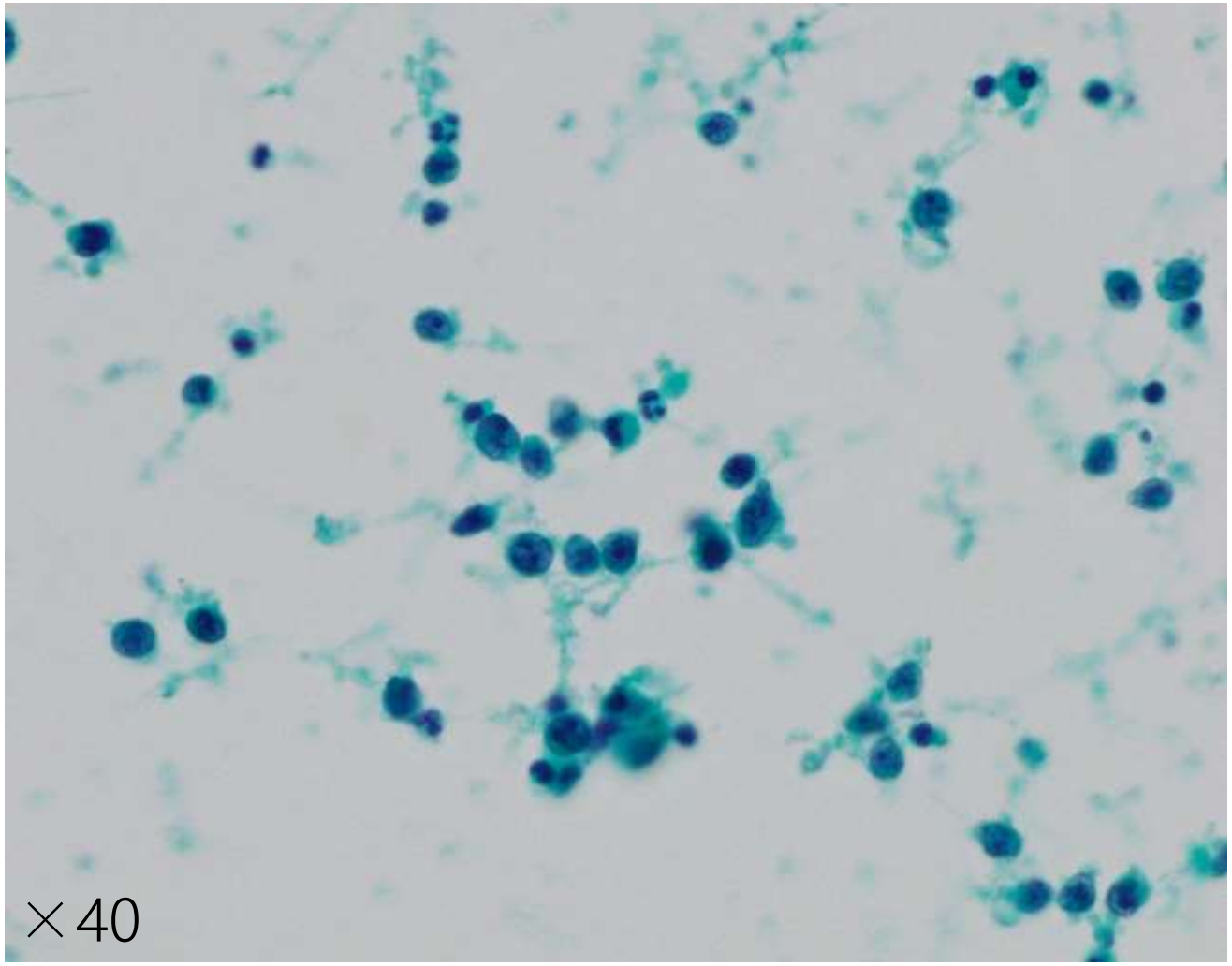
シフラ：1.2 ng/ml

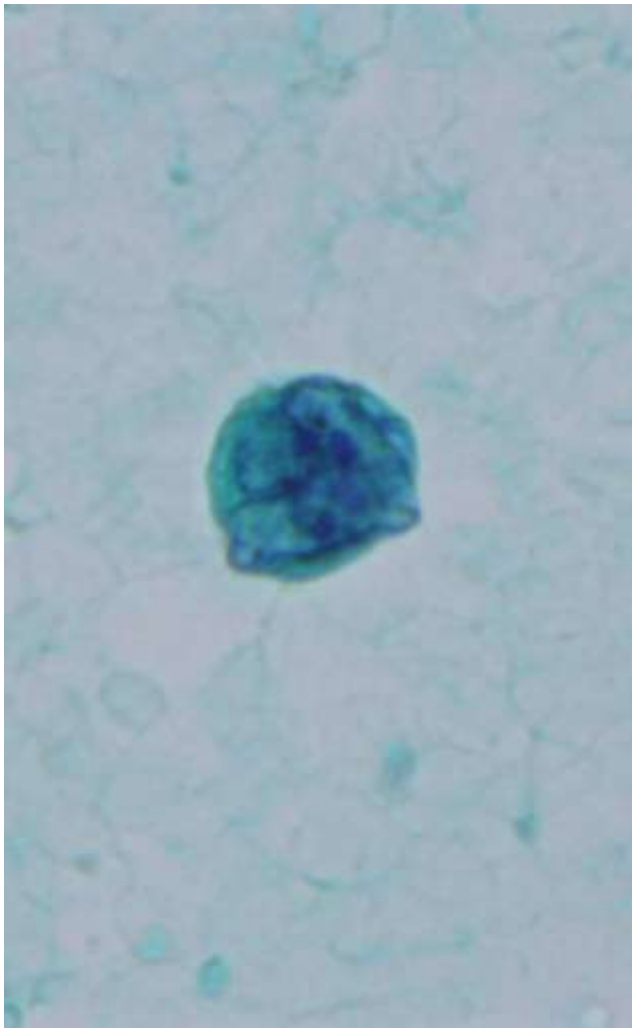
ProGRP：43.8 ng/ml

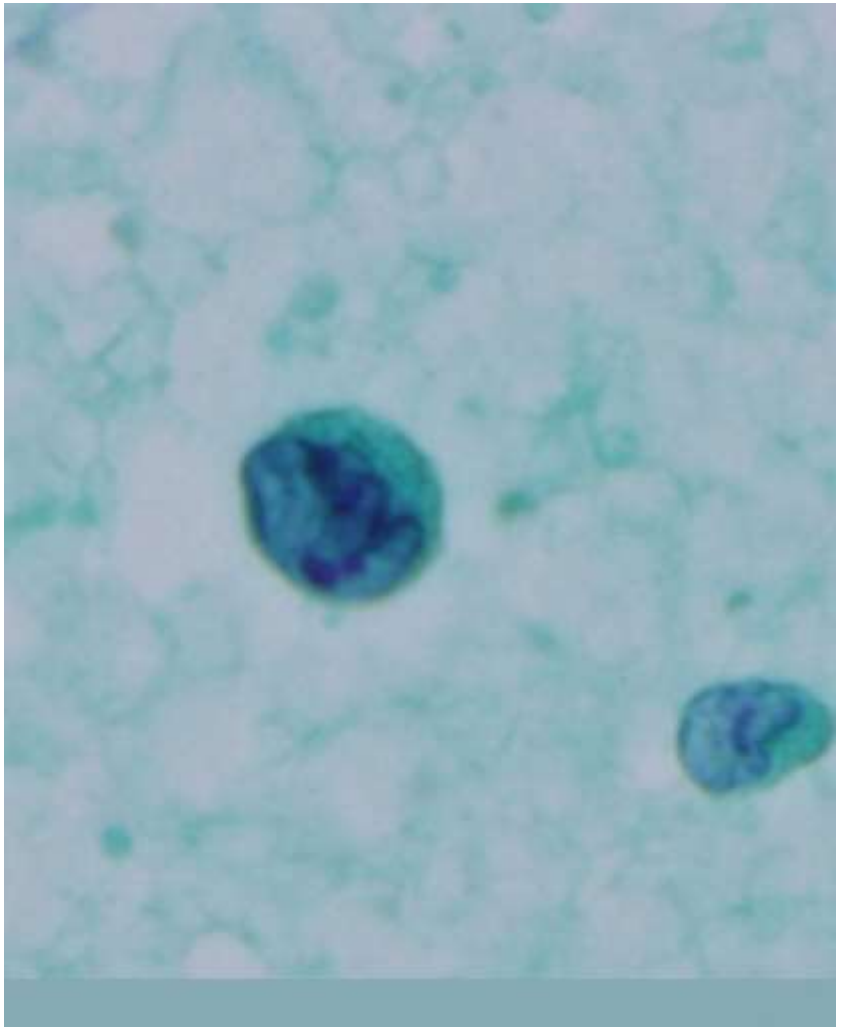
胸部CT画像



細胞像
検査材料:右肺経気管支的擦過細胞診







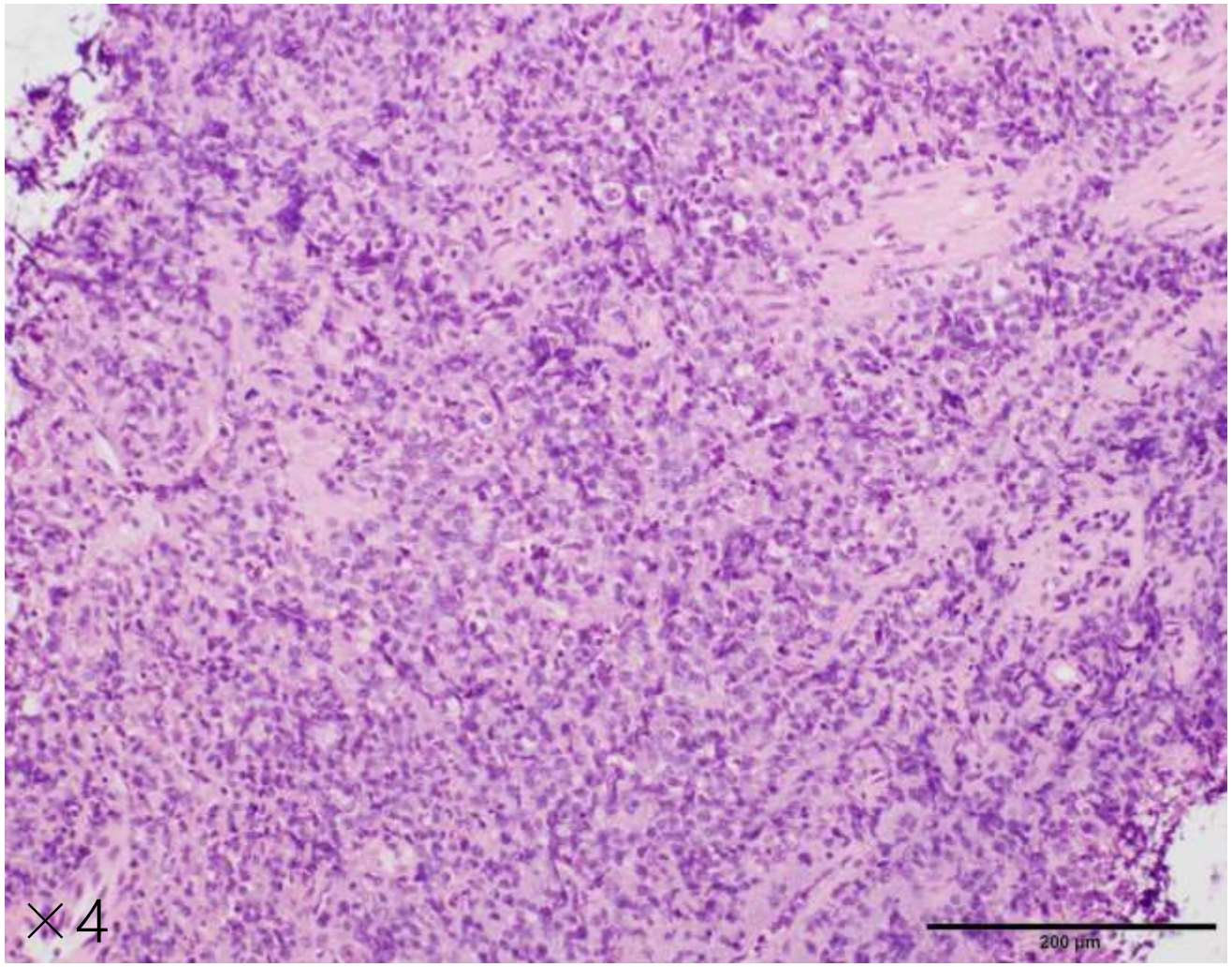
×100

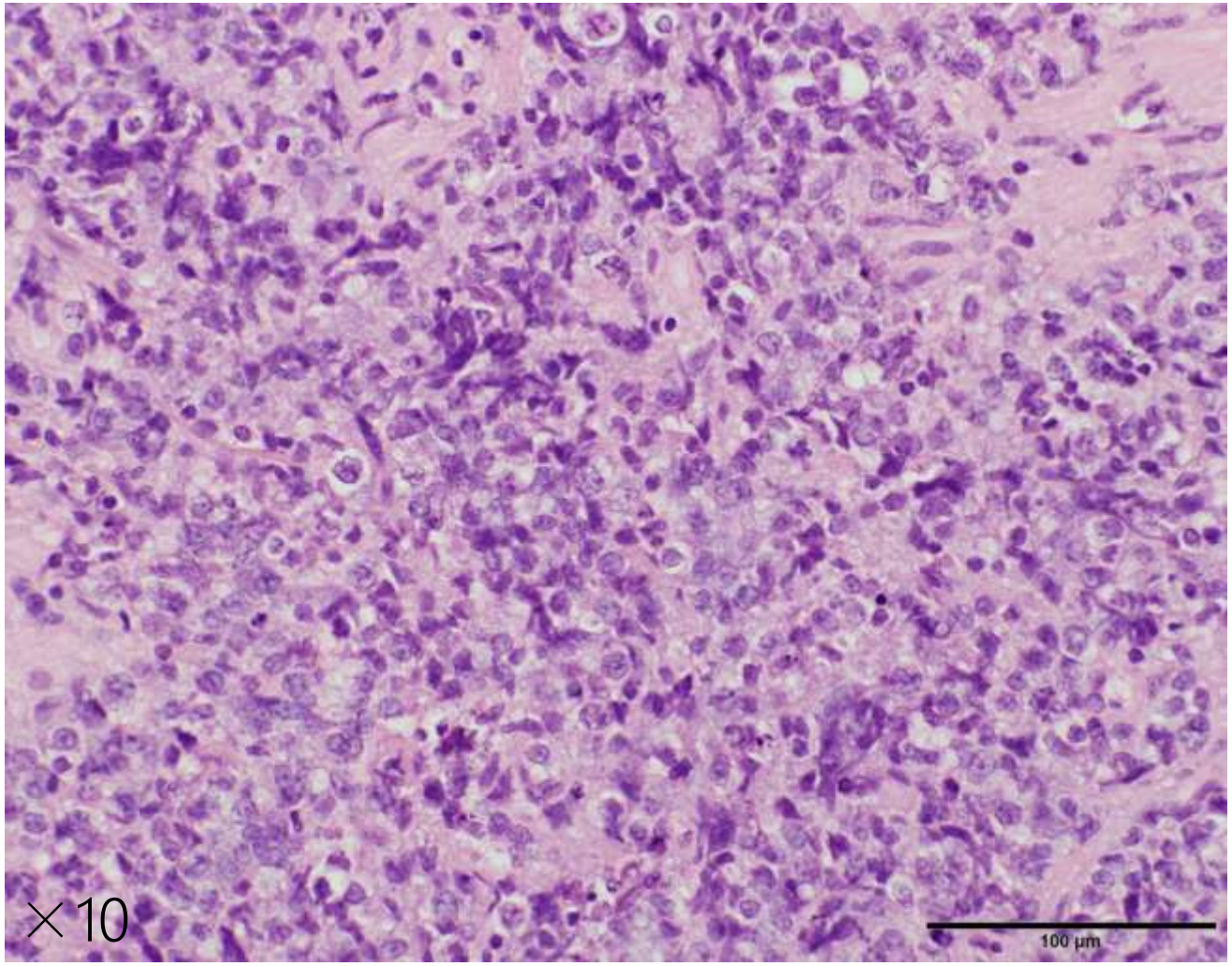
細胞診断

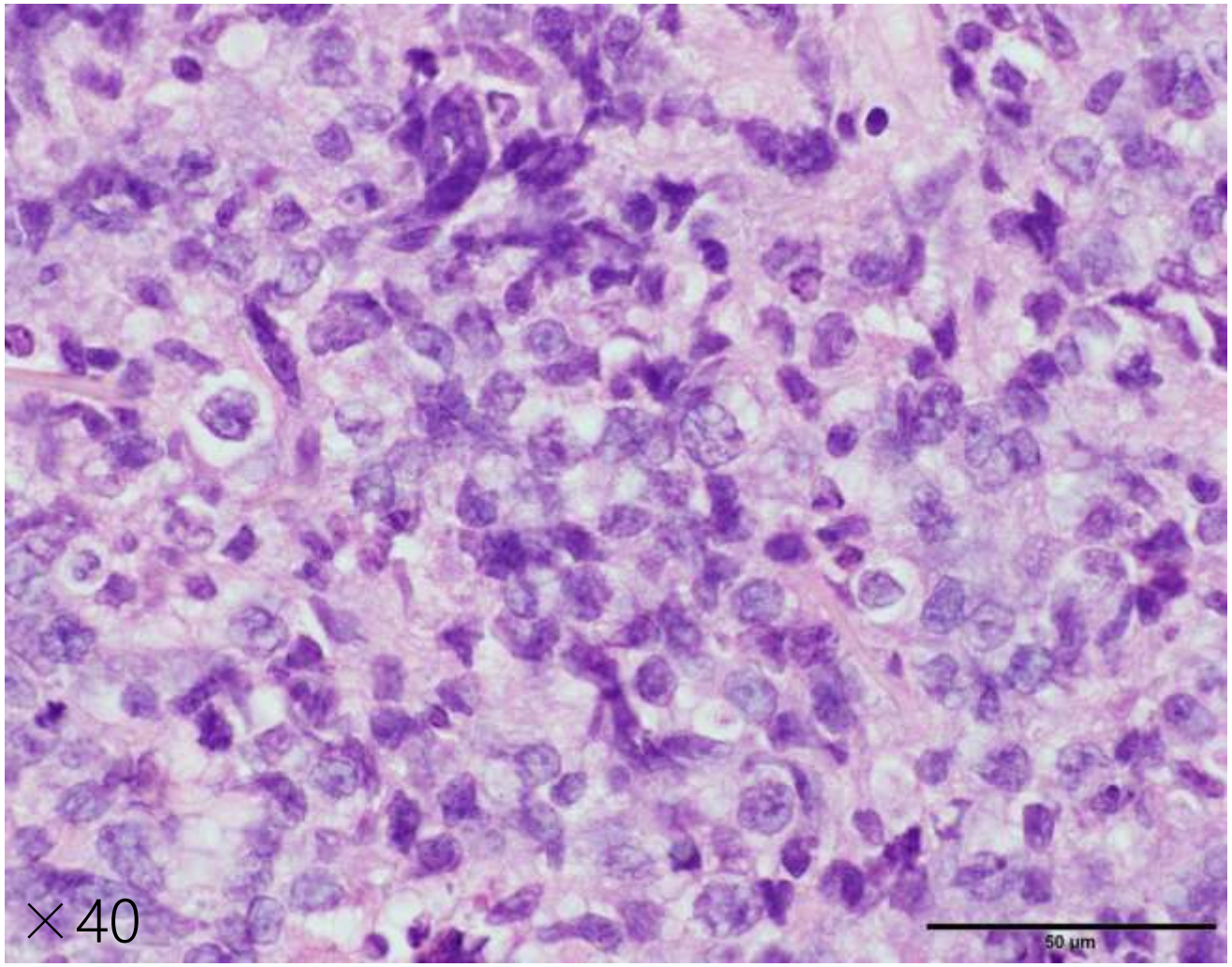
- N/C比の高い異型細胞
- 上皮性結合は認めない
- 著明な核の大小不同と核形不整

陽性：悪性リンパ腫

組織像
検査材料:右肺経気管支的針生検




×10
100 μm


×40
50 µm

ライブビュー遠隔病理診断所見

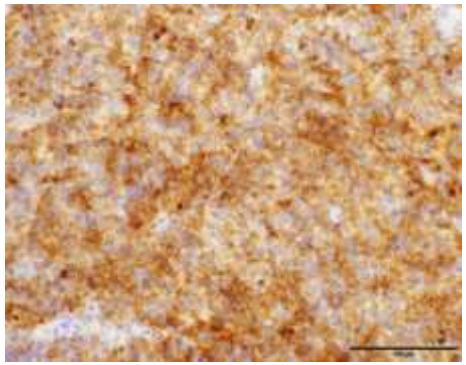
- 核小体が明瞭で核異型の強い大型異型リンパ球様細胞
- びまん性の増殖

遠隔病理診断：悪性リンパ腫

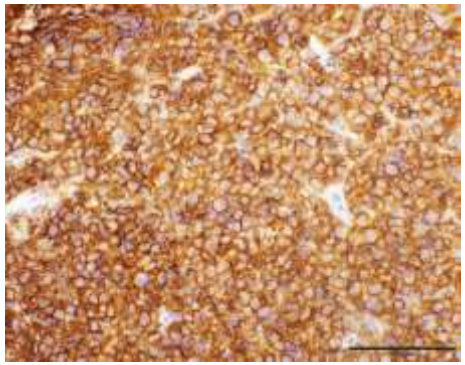
鑑別診断

- びまん性大細胞型B細胞リンパ腫（DLBCL）
- 成人T細胞白血病/リンパ腫（ATLL）

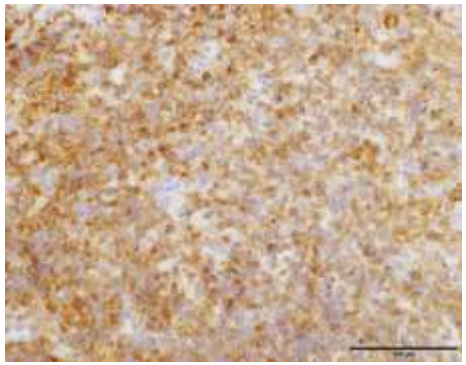
免疫染色・ISH結果



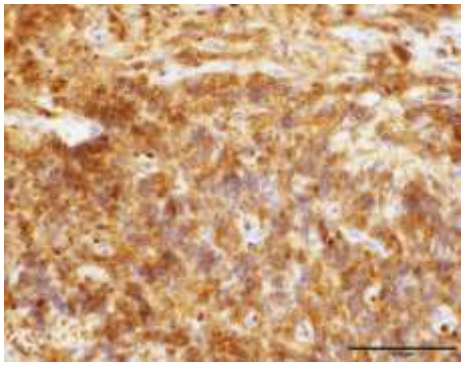
CD10



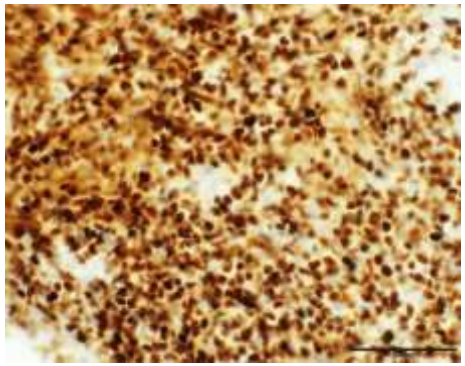
CD20



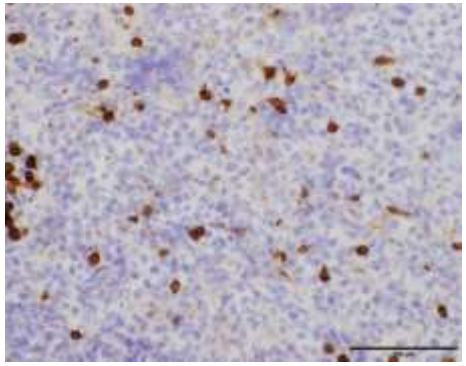
CD79a



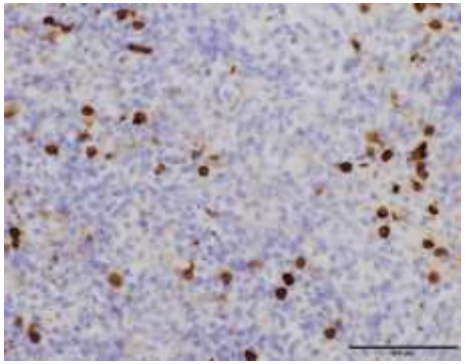
bcl-2



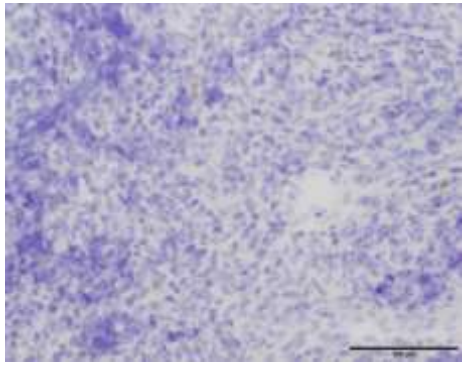
bcl-6



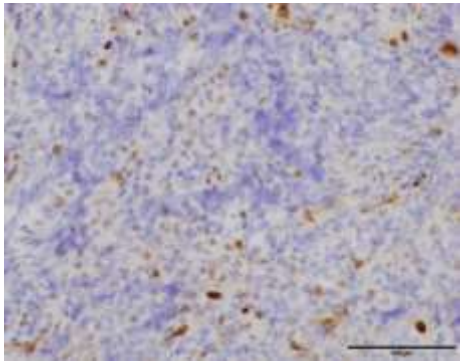
CD3



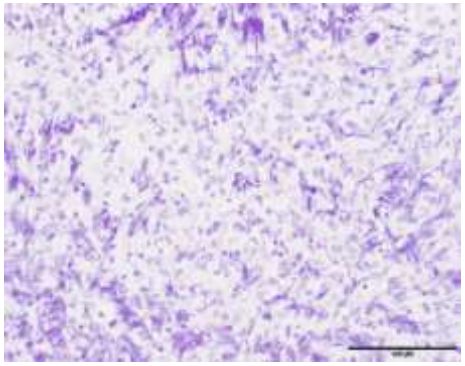
CD5



CD30



Cyclin D1



EBER

最終診断

びまん性大細胞型B細胞リンパ腫
（胚中心様亜型）

血液内科医の問診

- 慢性関節リウマチの既往
- メソトレキセート（MTX）の服用歴

医原性免疫不全関連リンパ増殖異常症（OI-LPD）

生検から治療開始までの経過

初診日　肺生検と擦過細胞診
２日目　細胞診にて悪性リンパ腫の診断(病理医招聘日）
３日目　遠隔病理診断にて悪性リンパ腫の診断
４日目　未染色標本を診断依頼先へ送付
５日目　免疫染色の結果より、DLBCLの最終診断
７日目　紹介先にて入院加療を開始

治療前



治療後



まとめ①

今回、遠隔病理診断支援システムを活用する事で、迅速な病理診断を可能とし、早期診断、早期に他院血液内科受診かつ、早期治療が奏功した肺原発悪性リンパ腫の一例を経験した。

常勤病理医が不在の病院でも、遠隔病理診断支援システムを導入することで、臨床側の要望に答えることが可能になり、患者のQOL向上につながると考えられる。

まとめ②

今回の症例は慢性関節リウマチの既往とメソトレキセート（MTX）服用歴が明らかになったことから医原性免疫不全関連リンパ増殖症として初期治療がなされた。

悪性リンパ腫と診断する際は、MTXなど免疫抑制剤使用歴や自己免疫疾患の有無を念頭に置き、患者背景を臨床医と共に確認することも必要と思われる。

御清聴有難うございました。